

悩んでいるあなたへ

子育て世代は、たくさんの方のストレスを抱えています。虐待は、子育ての不安から始まることも多いようです。それは、決して特別なことではありません。「たたいたり、どなたたりするのは、いけないこと……」とわかっていても、それを止められずに苦しんでいる方。匿名でもかまいません。左の相談先にご連絡ください。

児童虐待の相談・通告先

●子育て支援課 TEL224-5821

●川越児童相談所 TEL223-4152

日時…月～金曜日、午前8時30分～午後6時15分

●住んでいる地区の民生委員・児童委員、主任児童委員

不明な場合は、子育て支援課にご連絡ください。

児童虐待の相談先

●はっぴー応援団 TEL225-7904

市社会福祉協議会が運営しています。

日時…祝日・休日、年末年始を除く、毎週月・金曜日、
正午～午後6時

●子どもスマイルネット TEL048-822-7007

日時…祝日・年末年始を除く毎日、午前9時～午後9時
30分

児童虐待の通告先

●休日夜間児童虐待通報ダイヤル

TEL048-779-1154

日時…平日＝午後6時15分～翌日午前8時30分▶土・
日曜日、祝日・休日・年末年始＝通日

* 情報提供をした方が特定されないように、細心の注意を払い対応しています。

さい。

また、育児をしている親どうしが情報交換を行ったり、気軽に相談したりすることができる子育て支援室などもあります。

一人で悩まず、いつしよに考えていきましょう。

周りでこんな子がいたら

児童虐待を受けている子どもには、次のような状況が見られることがあります。

● 不自然な傷や打撲の跡がある

● 着衣や髪の毛がいつも汚れている

● 表情が乏しい

● おどおどしている

● 落ち着きがなく、乱暴になる

● 親を避けようとする

また、児童虐待が疑われる家庭の周辺では、次のような状況が見られることがあります。

● 日常的に、親の激しいな

り声や子どもの泣き声が聞こえる

● 日常的に、子どもが家から閉め出されている

● 通告する際には、「近所の

関係が悪くなってしまうので

は「虐待ではなかったらどうしよう」と考えてしまうかもしれない

しかし、市民の皆さんの通告によって、子どもの健やかな成長を支えられるかもしれないのです。

もし、「これって虐待？」

と思ったら、上の通告先にご連絡ください。

大勢で見守っています

市民の皆さんから頂いた情報を基に、市では児童相談所・病院・幼稚園・保育園・学校など、多くの関係機関と連携しています。そして、最善の支援をし、子どもたちを見守っています。市民の皆さんのご協力をお願いします。

児童虐待防止推進月間学習会

～ 地域で学ぶCAPプログラム講座 ～

子どもを守るために 地域の大人ができること

CAPプログラムとは、虐待・いじめ・誘拐・性暴力など、あらゆる暴力から「自分を守るために何ができるか」を、子ども自身が学ぶ人権教育プログラムです。この講座では、暴力や権利について、子どもからの相談と話を聴き方など、大人ができることについて学びます。託児・手話通訳あり（託児は、10月31日(金)までに子育て支援課へご連絡ください）。

日時…11月13日(木)、午後2時～4時30分

会場…川越駅東口多目的ホール（クラッセ川越6階）

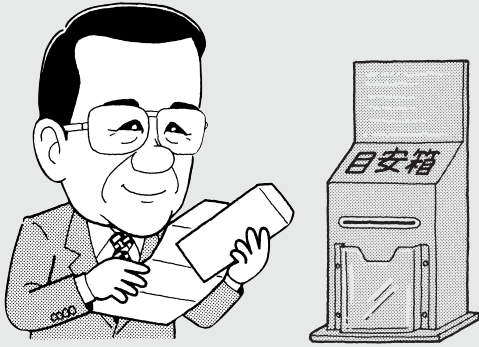
定員…先着100人

申し込み…10月14日(火)、午前8時30分から電話・フ
ァクスで同課

問い合わせ…子育て支援課

TEL224-5821・FAX223-8786

舟橋市長に提案 No.142



図書リクエストの返事をメールで

提案要旨（市民目安箱・平成19年9月）

図書館へ本をリクエストすると、電話で連絡がありますが、インターネットを使ったメールで連絡があると便利です。

回答

これまで市立図書館では、図書などが用意できた場合、携帯電話を含め電話連絡が原則でした。しかし、連絡時に外出しているなど、利用者の皆さんと連絡が取れない場合がたびたびございました。

近年、生活スタイルも多様になり、利用する皆さんからEメールでの連絡を導入してほしいという要望を多くいただいております。そのため、2月に実施した図書館コンピュータシステムの更新に合わせ、メールでの連絡を開始いたしました。館内の検索端末・図書館ホームページ・携帯電話などのモバイルサイトから、Eメールアドレスの登録が可能になりました。これにより、電話・Eメール・来館時の確認の3つから、希望の連絡方法を選択できるようにいたしました。

Eメールには利点があります。市立図書館から一度送信すれば、利用者の皆さんは都合に合わせて内容を確認できます。また、内容を定型化することで、書名や取り置き期日などの正確な情報をお伝えすることができます。さらに、内容を記録として残すこともできます。現在、連絡方法としてEメールを希望する方が18%程度で、少しずつ増えています。今後、使っていない方もご活用いただければ幸いです。

このことについては、中央図書館・TEL222-0559にお尋ねください。



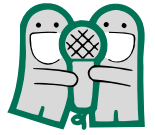
きれいな夜空にすつきり肉眼でも陰影まで見えた十月二十三日の「十三夜の名月（豆名月）」、自分でもおどろくほど珍しい神秘的な写真が撮れた。十五夜芋名月のとき

とは、また違った風情があり宇宙との会話に楽しいひとときが過ごせて嬉しかった。今年、天候がよく、カメラ好きの人にとってはチャンスに恵まれた。まもなく紅葉の季節、健康に気をつけて思い出に残る写真を撮り、シニア生活の糧の一こまにしたいと願っている

今日この頃です。仲みなお（中原町二丁目）
■ 広報川越から
昨年十月にお便りを頂きましたが、ことしの十三夜に合わせて紹介するため、一年近くお待たせしてしまいました。広報担当職員にとっても、天体写真は撮るのが難しいも

のの一つです。写真を拝見すると、月の模様がきれいに写り、技術の高さを感じます。ことしの十三夜は、十月十一日（土）。写真のようなきれいな月が、ことしも見られるといいですね。また、このお便りを読んで、十五夜に芋名月、十三夜に豆名月という別名があることを

初めて知りました。いわれを調べてみたところ、芋名月は芋を供えることから、豆名月は枝豆を供えることから来ているそうです。また、十三夜には栗を供えることから、栗名月という別名もあることもわかりました。*ふりがなは、広報室で付けました。



Duet

デュエット

広報川越へのご意見・ご感想を紹介するコーナーです

あて先：〒350-8601 川越市役所広報室「デュエット係」▼ファクスイ225-2171 ▼Eメール kono@city.kawagoe.saitama.jp
*必ず住所・氏名・年齢・電話番号をご記入ください。
*匿名・ペンネーム希望の場合は、その旨を明記してください。